

長期投資家の皆様へ

米国経済の順調な回復ぶりが際立って来ています。ジャクソンホールでの FRB (米連邦準備理事会) イエレン議長らのメッセージに市場の注目が集まっていますが、雇用と消費の拡大が賃金上昇トレンドへと繋がり、ターゲットに向けたインフレ傾向も定着しつつあって、併せて新興国市場への資金流入も安定していることから、米金利の引き上げ環境が再び整って来たようです。この利上げは米国経済の安定的拡大基調を裏付けるものとして、市場がポジティブな反応に変わって来ていることも、直近の金融市場全体の安定に寄与しています。

黒田日銀総裁もジャクソンホールのスピーチで、更なるマイナス金利も含めた金融緩和への用意に言及し、欧州でも企業業績の停滞から追加緩和期待が高まっていて、米国の利上げと日欧の金融緩和の双方がグローバルな市場安定への前提となりつつあります。

日本経済はアベノミクス効果が剥落して、すっかり景況感も停滞気味。消費者物価指数(生鮮食品を除く)は5カ月連続マイナスと、デフレ基調に逆戻りし兼ねぬ体たらくです。そうした気分を反映して、個人投資家の資金フローはこの処すっかり夏枯れて意気消沈ですが、気が付けば米国株式市場は史上最高値を更新し、欧州株式市場でも年初水準を回復して来ています。つまり国内のムードはグローバルな市場実体を反映していません。

そうした彼我の差の中で、「セゾン号」は従前からお金をグローバル経済にしっかりと働かせていて、円高の環境も良い仕込み時と捉えながら、毎月の安定した流入資金をコツコツと投入し続けて進んでおります。悪くない風向きになって来ています。

中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

株式市場は、概ね上昇しました。

序盤、原油価格が下落し、リスク回避姿勢が強まるなかで、米国で製造業の景況感指数の低下が確認されたこともあり、軟調な展開となりましたが、その後は原油価格が反発に転じるなかで、イギリスで政策金利の引き下げを含む金融緩和策が打ち出されて安心感が広がったほか、米国の雇用統計が良好な結果となり米国経済の先行きに対する明るい見方が強まり、上昇基調となりました。

中盤には、原油価格が一段と上昇したことを受けて、一段と上昇する局面もあったものの、米国の小売売上高が弱い結果となったほか、中国でも鉱工業生産や小売売上高が弱い結果となったことが確認され、景気の先行きへの懸念が高まってやや軟調な展開となり、その後は米国で複数の地区連銀総裁が早期の利上げに前向きな発言を行ったことを受けて早期利上げへの警戒が高まり、力強さを欠く展開が継続しました。

終盤には、米連邦準備制度理事会 (FRB) のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、米国の利上げ観測が一段と高まったことから、軟調な展開となりました。

8 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) / 1 バレル	44.70 ドル	+7.45%
NY 金先物 (中心限月) / 1 トロイオンス	1311.4 ドル	-3.40%

イギリスの欧州連合 (EU) 離脱が決定的となり景気の先行きへの不透明感が高まったことを受けて、イギリスで金融緩和策が打ち出されましたが、全般的に景気が底堅さを保っていることから、金融緩和期待は後退しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

8 月度の市場動向について

米国株式

米国の株式市場は、全般的に力強さを欠く動きとなり、主要指数はほぼ変わらずとなりました。

序盤、原油価格が一段と低下し、リスク回避志向が高まるなかで、製造業と非製造業の景況感指数が予想以上に低下したこともあり、軟調な展開となりましたが、その後発表された雇用統計は非農業部門の雇用者数の伸びが予想を大きく上回るなど良好な内容となり、景気の先行きへの明るい見方が広がって反発に転じました。

中盤には、原油価格が上昇してリスク回避志向が後退して一段と上昇する局面もあったものの、小売売上高の伸びが予想を大きく下回り、先行きへの明るい見方が後退したことから、やや軟調な展開となりました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、利上げに対する慎重な姿勢が維持されていることが確認できたものの、複数の地区連銀総裁が早期の利上げに前向きな発言を行ったことを受けて、利上げへの警戒が高まり、軟調な展開が継続しました。

終盤には、連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、利上げ観測が一段と高まったことから、株式市場は一段と下落し、その後は個人消費の堅調さが確認されたことなどを受けて景気の先行きへの懸念が後退し、反発する局面もあったものの、軟調な展開が継続しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	18400.88	-0.17%
S&P500（米ドル）	2170.95	-0.12%
ナスダック総合指数（米ドル）	5213.219	+0.99%

終盤に、ワイオミング州ジャクソンホールで開催されたシンポジウムでイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演を行った後に、フィッシャー副議長が議長の講演を補足する形で9月の利上げの可能性を示唆したことで早期利上げへの警戒が高まっています。

欧州株式

欧州の株式市場は上昇しました。

序盤、原油価格の下落が続き、リスク回避志向が強まるなかで欧州銀行監督機構（EBA）が実施した欧州銀行ストレステスト（健全性審査）で大半の銀行の健全性が確認されたものの、一部の銀行の資本不足が指摘されたことから先行きへの明るい見方は広がらず、下落基調となりましたが、その後はイギリスで政策金利の引き下げを含む金融緩和策が打ち出されたことを受けて、安心感が広がったほか、ユーロ圏でも金融緩和期待が高まり、反発に転じました。

中盤には、原油価格が上昇してリスク回避の動きが後退して一段と上昇する局面もあったものの、その後は、米国で利上げへの警戒が強まったことや7月に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会の議事録に、金融緩和への過度な期待の高まりを牽制する文言が記されていたことを受けて金融緩和観測が後退したことから、軟調な展開となりました。

終盤には、ドイツで景況感の低下が確認され景気の先行きへの懸念が高まるなかで、米国で利上げへの警戒が高まったことから軟調な展開となる局面もありましたが、欧州では金融緩和環境が長期化すると見られていることから、底堅い展開が継続しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	10592.69	+2.47%
仏 CAC 指数（ユーロ）	4438.22	-0.04%
英 FT100 指数（英ポンド）	6781.51	+0.85%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	8202.13	+0.92%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	115.93	+0.42%

イギリスでは、国民投票で欧州連合（EU）からの離脱が選択されたことを受けて、先行きへの不透明感が高まっていることから、イングランド銀行は政策金利を過去最低の0.25%まで引き下げましたが、カーニー総裁はマイナス金利に対しては否定的な見解を示しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

8 月度の市場動向について

日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、政府が経済対策を閣議決定したものの、先行きへの明るい見方は拡がらず、日本銀行の金融緩和への期待が後退するなかで、原油価格の下落が続いてリスク回避志向が高まったことから為替市場で円高基調となり、株式市場は下落しました。その後は、米国の雇用統計が良好な結果となり、米国経済の先行きに対する明るい見方が拡がったことや原油価格が反発に転じたことを受けて為替市場で円安となるなかで、設備投資の先行指標となる機械受注が良好な結果となり、景気の先行きへの懸念が後退したことや日本銀行が上場投資信託（ETF）の買入れを行ったことを受けて上昇基調となりました。

中盤には、米国の小売売上高が弱い結果となったことなどを受けてドルが下落し、対ドルで円高となるなかで、4-6月期のGDP（速報）が設備投資や輸出の落ち込みにより低い伸びとなったことが確認され、景気の先行きへの懸念が高まって下落基調となり、その後は当局が円高を牽制する発言を行ったものの、日本銀行が9月に「総括的な検証」を行う予定としていることから、日本銀行の金融政策に対する不透明感は根強く、円高基調が継続し、軟調な展開が継続しました。

終盤には、連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、米国の利上げ観測が一段と高まったほか、黒田日銀総裁が緩和に前向きな発言を行ったことを受けて為替市場で円安となり、企業業績の改善への期待が高まったことから、株式市場は反発に転じました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	16887.40	+1.92%
TOPIX[東証株価指数]	1329.54	+0.51%
MSCI Japan 指数（円）	806.09	+1.28%

4-6月期のGDP（速報）では、住宅投資や公共投資の堅調さが確認されたものの、個人消費の伸びの低迷が続いていることや、企業の設備投資や輸出が落ち込んでいることが確認され、景気の先行きに対する懸念が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、香港を除いて下落しました。

序盤、オーストラリアでは政策金利が引き下げられたものの、原油価格の下落が続きリスク回避の動きが強まったことから軟調な展開となり、その後は、オーストラリアの小売売上高が3ヶ月連続で低い伸びに留まったことからオーストラリア経済の先行きに懸念が強まったものの、イギリスで金融緩和策が打ち出されたことや米国で雇用統計が良好な結果となり、米国経済の先行きに対する明るい見方が拡がったことを受けて反発に転じ、特に香港の株式市場は大きく上昇しました。

中盤にかけては、経済的に関係の深い中国で鉱工業生産などが軒並み予想を下回る伸びとなったことを受けて、景気の先行きに対する懸念が高まって力強さを欠く展開となり、その後は、中国政府が香港市場と深セン市場の株式相互取引の実施を承認し、香港の株式市場が一段と上昇する局面もあったものの、米国の利上げへの警戒が高まったことから、全体としては力強さを欠く展開となりました。

終盤には、連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、米国の利上げへの警戒が一段と強まり、下落しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1187.29	-2.18%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	5433.033	-2.33%
香港ハンセン指数（香港ドル）	22976.88	+4.96%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2820.59	-1.68%

中国政府が、2014年に開始した上海市場と香港市場の相互株式取引に続いて、深セン市場と香港市場の相互株式取引を承認したことで、懐疑的な見方もあるものの香港市場の活性化への期待が高まっています。

8 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、上昇しました。

序盤、原油価格が下落するなかでも、米国の利上げへの警戒が和らいでいること背景に新興国の株式市場は堅調な展開となり、その後はイギリスで利下げを含む金融緩和策が打ち出されたことや、米国の雇用統計が良好な結果となり米国経済の先行きへの明るい見方が拡がって、リスク選好が強まったことから上昇基調となりました。

中盤にかけては、原油価格が一段と上昇し、リスク選好が強まるなかで、米国で物価の伸びの鈍化が確認され金融緩和の長期化期待が高まったこともあり、新興国の株式市場は一段と上昇したものの、中国で鉱工業生産や小売売上高の伸びの縮小が確認され、中国経済の減速への懸念が高まったほか、米国の小売売上高が予想を下回り米国経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことから、先行きへの明るい見方は拡がらず、その後は力強さを欠く展開となりました。

終盤にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、利上げに対する慎重な姿勢を維持していることが示されたものの、複数の地区連銀総裁が早期の利上げに前向きな発言を行ったことを受けて、利上げへの警戒が高まり、軟調な展開となりました。その後は、連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、米国の利上げ観測が一段と高まり、軟調な展開が継続しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	893.68	+2.31%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	57901.11	+1.03%
中国上海指数（中国元）	3085.491	+3.56%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2034.65	+0.92%
台湾加権指数（台湾ドル）	9068.85	+0.94%
ロシア RTS 指数（米ドル）	950.25	+2.45%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	28452.17	+1.43%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	52733.12	-0.12%

中国では、民間発表の製造業の景況感指数が1年5ヵ月振りに判断の分かれ目となる50を上回ったものの、国家統計局発表の製造業の景況感指数が5ヵ月振りに50を下回ったほか、鉱工業生産、小売売上高、民間投資の低迷も確認されており、中国政府が供給過剰を解消するための構造改革に取り組むなかで、景気の先行きへの懸念が高まっています。

また、ブラジルでは4-6月期のGDPが6四半期連続で前期比マイナスとなり、景気後退が続いているほか、インドの4-6月期のGDPも前年比の伸び率を縮小するなど、一時に比べると先行きへの悲観的な見方は後退しているものの、新興国経済の先行きは、依然として不透明なものとなっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

8 月度の市場動向について

世界の債券市場についての概況

国債市場は、金融緩和の長期化観測は根強いものの、イギリスの欧州連合（EU）離脱決定後の金融市場が落ち着いた動きとなっており、景気の先行きへの懸念も後退していることから、安全資産としての需要が後退したほか、過度の金融緩和期待が修正され、全般的に軟調な展開となりました。

米国債は、雇用環境の改善が続いていることや当局者による利上げに前向きな発言が続いたことから、利上げの先送り観測が修正され、軟調な展開となりました。ユーロ圏の国債は、主要国の国債が軟調な展開となったものの、金融緩和観測に下支えされ、周縁国の国債が堅調な展開となりました。日本国債は、金融政策の不透明感が高まったことを背景に軟調な展開が継続しました。

米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、下落しました。

序盤から米国債は、日本で金融緩和観測が後退したことを背景に、高値への警戒が高まって軟調な展開となり、その後も、雇用統計が良好な結果となったことを受けて、下落基調が継続しました。中盤には生産者物価指数の伸びが予想を下回ったことを受けて上昇する局面もあったものの、その後は複数の地区連銀総裁が利上げに前向きな発言を行ったことや連邦準備制度理事会（FRB）のフィッシャー副議長が条件次第で9月に利上げを行う可能性を示唆したことを受けて利上げ観測が高まり、軟調な展開となりました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	1.580%付近	+0.127%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の国債は、主要国を中心に下落しました。

序盤、日本で金融緩和観測が後退するなかで下落する局面もあったものの、その後はイギリスで政策金利の引き下げを含む金融緩和策が打ち出されたことを受けてユーロ圏でも金融緩和への期待が高まり周縁国の国債を中心に上昇しました。中盤以降は、7月に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会の議事録に、金融緩和への過度な期待を牽制する文言が記されていたことを受けて金融緩和観測が後退したことから、軟調な展開となりました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.065%付近	+0.054%

日本債券市場（国債）

日本の国債市場は下落しました。

前月末に開催された日本銀行の金融政策決定会合で、政策金利の引き下げや国債買入額の拡大が見送られたほか、9月の金融政策決定会合で「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の「総括的な検証」を行うと報じられたことを受けて金融政策の先行きへの不透明感が高まると共に、金融緩和期待が後退したことを受けて序盤から下落し、中盤にかけては割安感から反発に転じる局面もあったものの、先行きの不透明感は根強く、終盤まで力強さを欠く展開が継続しました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	-0.063%付近	+0.127%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

8 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

ドルは、雇用統計が良好な結果となったことを受けて利上げ観測が高まるなかでも物価の伸びが抑制され、長期金利が低い水準で推移していることを背景に途中までやや軟調な展開となったものの、中盤以降は、利上げ観測が高まったことを受けて反発しました。

ユーロは、イギリスが政策金利の引き下げを行ったことを受けて金融緩和期待が高まる局面もあったものの、欧州中央銀行（ECB）が過度の金融緩和期待を牽制する姿勢を示したことから、底堅い展開となりました。円は、9月に日本銀行が金融緩和の「総括的な検証」を行うと報じられたことを受けて、先行きへの不透明感が高まると共に金融緩和期待が後退し、途中まで堅調な展開となりましたが、金融緩和期待は根強く、終盤に下落しました。

ドル・円

円はドルに対して、下落しました。

序盤、金融緩和期待が後退したことを受けて円が上昇し、対ドルで円高となったものの、その後は米国の雇用統計が良好な結果となり利上げ観測が高まってドルが上昇したことから円安に転じました。中盤には米国で物価の伸びが予想を下回ったことや小売売上高が弱い結果となったことを受けてドルが軟調な展開となって円高となりました。中盤以降は、米国で利上げへの警戒が高まりドルが堅調な展開となったものの、金融緩和観測が後退したことを背景に円の堅調な展開が続き、円は対ドルで方向感の無い展開となりましたが、終盤には、ジャクソンホールでの連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言を受けて、米国の利上げ観測が一段と高まってドルが上昇する一方、黒田総裁の発言を受けて金融緩和期待が高まった円が下落し、対ドルで円安となりました。

ユーロ・円

円はユーロに対して、下落しました。

前半、金融緩和期待が後退したことを受けて円が上昇する一方で、イギリスで政策金利の引き下げが行なわれたことを受けてユーロ圏でも金融緩和期待が高まってユーロが下落し、対ユーロで円高となりました。中盤以降は、7月の欧州中央銀行（ECB）理事会の議事録で金融緩和への過度な期待の高まりを牽制する文言が記されていたことから緩和観測が後退してユーロが堅調な展開となったものの、金融緩和観測が後退したことを背景に円の堅調な展開が続き、円は対ユーロで方向感の無い展開となりましたが、終盤にはジャクソンホールでの黒田総裁の発言を受けて金融緩和期待が高まって円が下落し、対ユーロで円安となりました。

8 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	103.42	+1.35% (円安)
円／ユーロ	115.38	+1.06% (円安)
ユーロ／ドル	1.1158	-0.15% (ユーロ安)

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「セゾン資産形成の達人ファンド」
運用概況（2016年8月31日現在）

今月のマーケット

株式：【金融緩和期待の高まりを背景に中盤まで上昇したものの、終盤に米国で利上げへの警戒が高まったことを受けて反落に転じる】

前半、イギリスで政策金利の引き下げが行われたことや世界的に景気が力強さを欠くことを背景に金融緩和期待が高まり、途中まで上昇したものの、終盤には複数の当局者の発言を受けて米国で早期利上げへの警戒が高まって反落に転じ、結果的には小幅な上昇に留まりました。

為替：【ドルが途中まで軟調な展開となったものの終盤に反発、ユーロも堅調な展開となり、対ドル、対ユーロで円安】

ドルは途中まで軟調な展開となったものの、終盤に米国で利上げ観測が高まって反発し、ユーロは金融緩和拡大への期待が後退したことを背景に堅調な展開となりました。日本の金融政策の先行きへの不透明感が高まっているものの金融緩和観測が根強く、円は下落しました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月とほぼ変わらず、月末時点で1.2%となっております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

ファンドマネジャーからの一言

毎年、8月にアメリカの著名な観光地の一つであるワイオミング州ジャクソンホールで開催される経済政策シンポジウムは、主要な中央銀行の幹部や政策担当者、学者が参加し、世界経済や金融政策についての討議を行なうことから、金融政策についての手ごかりを得ようとする市場参加者からの高い注目を集めており、今年は米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言をきっかけに、米国の利上げ観測が高まった結果、為替市場でドルが上昇しました。

このシンポジウムでは、世界的に成長率や金利が低下している現状を踏まえて、金融政策の役割についても討議が行われ、参加者からは政府の対応を求める声が多く聞かれたほか、一部では量的緩和策やマイナス金利による副作用への懸念も示され、金融政策の限界が改めて意識されましたが、このような状況において、長期的に高い成長が期待できる企業を見つけて投資を行うことは、有用であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド
8 月度運用レポート

I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2016年8月31日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	14,983円
純資産総額	326.7億円

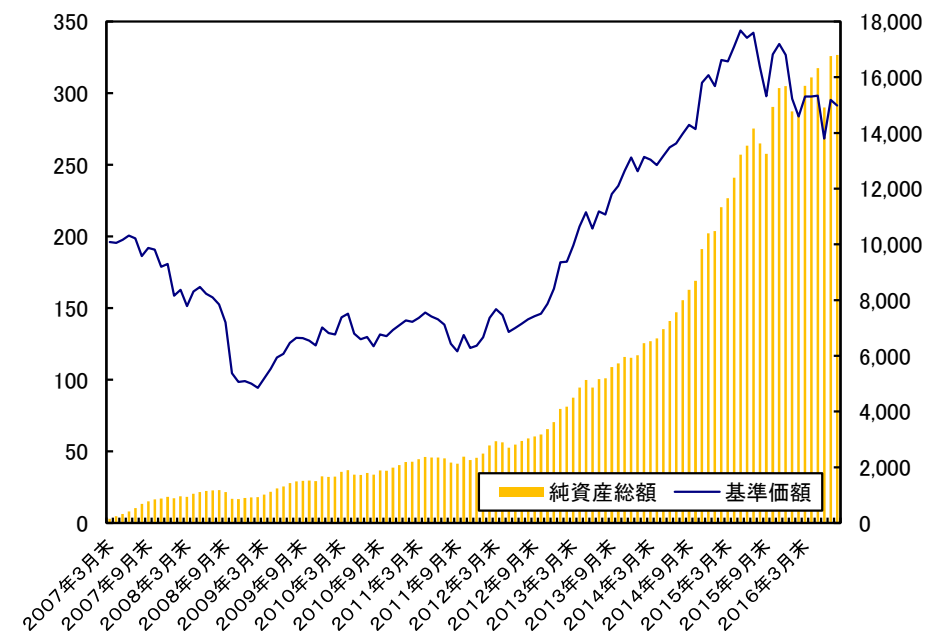
設定来騰落率	49.83%
過去1ヶ月間の騰落率	-1.34%
過去6ヶ月間の騰落率	2.68%
過去1年間の騰落率	-8.53%
過去3年間の騰落率	35.29%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2016年8月31日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	17,933	2015年7月21日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

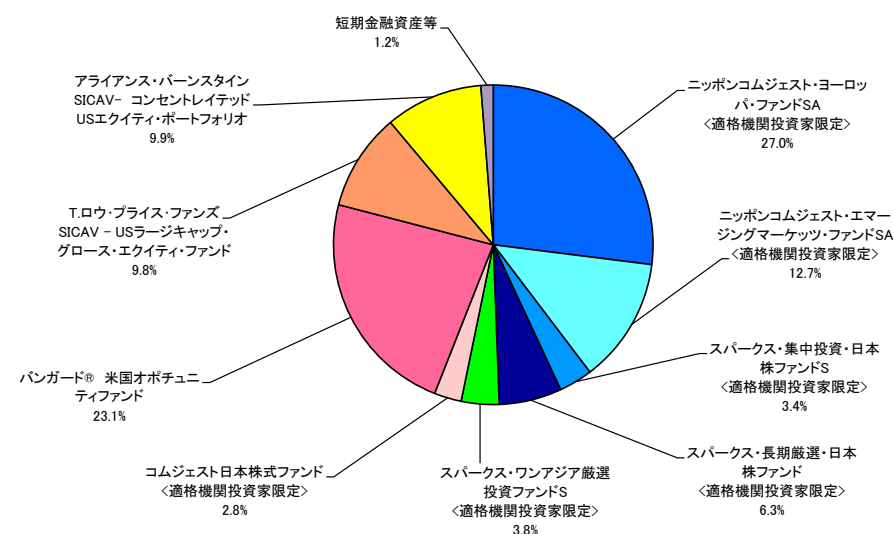
セゾン資産形成の達人ファンド
8 月度運用レポート

II：ファンド資産の状況（2016年8月31日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	27.0%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	12.7%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.4%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	6.3%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.8%
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	2.8%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	23.1%
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	9.8%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.9%
短期金融資産等	1.2%
合計	100.0%

資産配分状況(2016年8月31日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5832%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.50%です。
（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。
当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
8 月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2016年7月29日現在）

国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

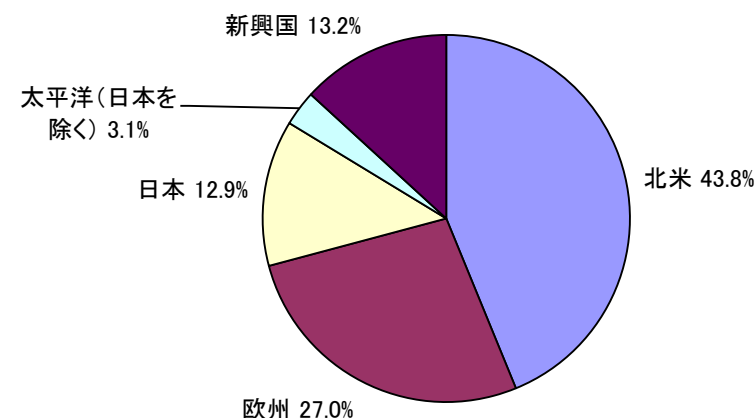
国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
アメリカ	43.8%	53.3%	-9.5%
日本	12.8%	7.8%	5.1%
フランス	8.0%	3.2%	4.8%
スイス	3.8%	3.0%	0.8%
中国	3.6%	2.7%	1.0%
デンマーク	3.6%	0.6%	2.9%
スペイン	3.5%	1.0%	2.6%
ドイツ	2.8%	2.9%	-0.1%
イギリス	2.4%	6.3%	-3.9%
香港	2.2%	1.1%	1.1%
インド	2.0%	0.9%	1.1%
ブラジル	1.9%	0.8%	1.1%
台湾	1.4%	1.3%	0.1%
南アフリカ	1.3%	0.8%	0.5%
韓国	1.1%	1.6%	-0.5%
オランダ	0.9%	1.1%	-0.2%
スウェーデン	0.9%	0.9%	-0.1%
オーストラリア	0.6%	2.5%	-1.8%
メキシコ	0.6%	0.4%	0.2%
アイルランド	0.6%	0.2%	0.4%
イタリア	0.5%	0.6%	-0.1%
ロシア	0.5%	0.4%	0.1%
マレーシア	0.4%	0.3%	0.1%
シンガポール	0.3%	0.4%	-0.2%
フィリピン	0.2%	0.2%	0.0%
チリ	0.1%	0.1%	0.0%
インドネシア	0.1%	0.3%	-0.2%
タイ	0.1%	0.2%	-0.2%
ルクセンブルグ	0.0%	0.0%	0.0%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

セゾン資産形成の達人ファンドの地域別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2016.9.5

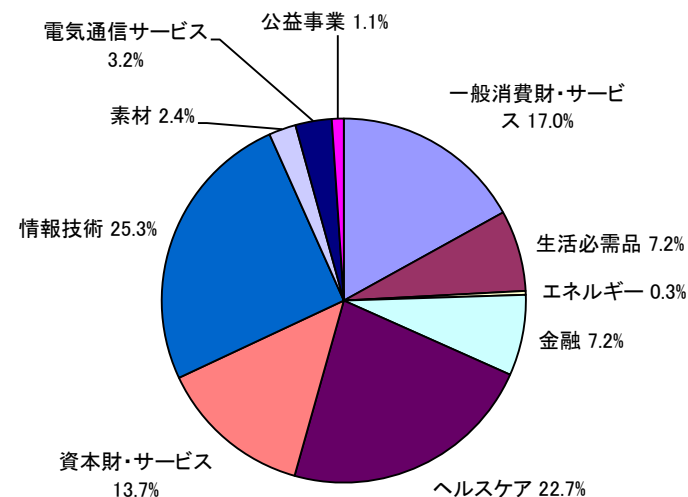
業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	17.0%	12.5%	4.4%
生活必需品	7.2%	10.6%	-3.4%
エネルギー	0.3%	6.6%	-6.3%
金融	7.2%	19.8%	-12.7%
ヘルスケア	22.7%	12.4%	10.3%
資本財・サービス	13.7%	10.3%	3.4%
情報技術	25.3%	15.4%	9.9%
素材	2.4%	5.0%	-2.6%
電気通信サービス	3.2%	3.9%	-0.7%
公益事業	1.1%	3.5%	-2.4%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2016.9.5

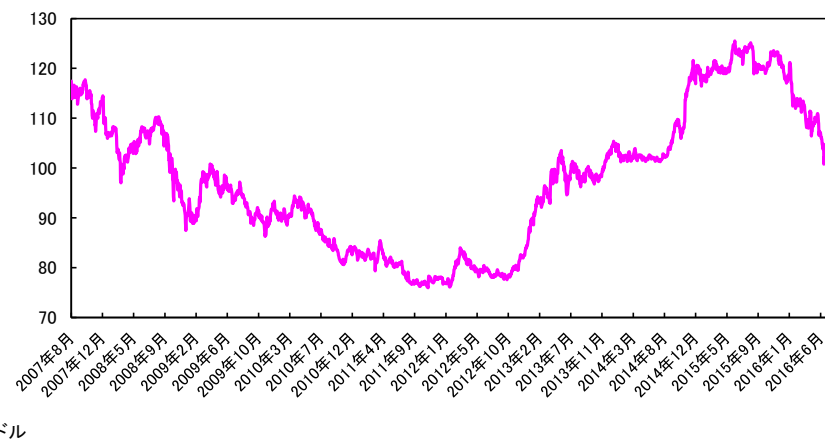
Ⅲ：為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年12月30日	120.61
2016年1月29日	120.87
2016年2月29日	113.62
2016年3月31日	112.68
2016年4月28日	109.75
2016年5月31日	110.94
2016年6月30日	102.91
2016年7月29日	104.42
2016年8月31日	103.18
変化率（組入来）	-12.14%
変化率（8月度）	-1.19%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年8月15日から2016年8月31日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2016 年 8 月 31 日現在の値

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	168.5
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	135.4
スパークス・集中投資・日本株ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	264.7
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	296.9
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	84.2
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	95.2
バンガード 米国オポチュニティファンド	224.9
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	230.1
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	88.8

2016 年 7 月 29 日の値を 100 とした場合の 2016 年 8 月 31 日現在の値（8 月の動き）

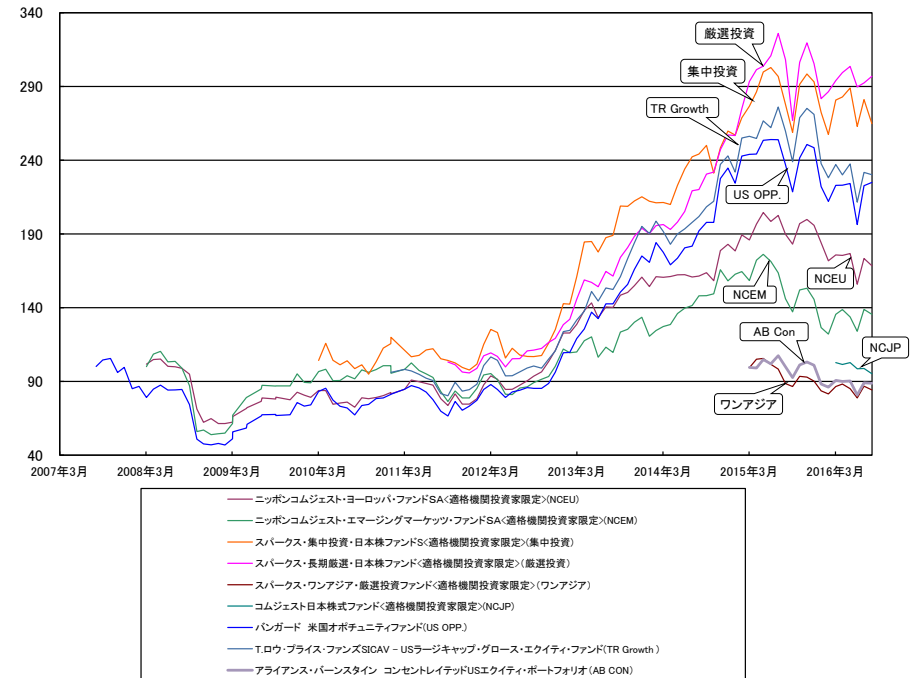
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	97.2
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	97.5
スパークス・集中投資・日本株ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	94.2
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	101.5
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	97.1
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	96.5
バンガード 米国オポチュニティファンド	101.0
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	99.3
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	99.7

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 12 日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、T.ロウ・プライス・ファンズSICAV・USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドは 2011 年 3 月 15 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタインSICAV・コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ（クラスI）は 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日、コムジェスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日の値を 100 としして算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）



セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

8 月度の騰落率は、日経平均株価の+1.9%、東証株価指数 (TOPIX) の+0.5%に
対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは+0.8%でした。7 月末時点の当フ
ァンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記
の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 14 銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	96.9%
現金・その他	3.1%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	電気機器	19.07%
2	化学	14.93%
3	卸売業	13.78%
4	その他製品	11.66%
5	情報・通信業	9.50%

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
テルモ	精密機器
日本電産	電気機器
キーエンス	電気機器
シマノ	輸送用機器
良品計画	小売業
アシックス	その他製品
ユニ・チャーム	化学
ミスミグループ本社	卸売業
ソフトバンクグループ	情報・通信業

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

8 月度の騰落率は-6.5%でした。7 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおけ
る資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。
また、7 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーフ
ァンドの組入銘柄数は 33 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うフ
ァミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	95.5%
現金・その他	4.5%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	不動産業	16.38%
2	化学	15.26%
3	機械	8.95%
4	食料品	8.64%
5	建設業	7.17%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

銘柄名	業種
東洋建設	建設業
オープンハウス	不動産業
シップヘルスケアホールディングス	卸売業
SRAホールディングス	情報・通信業
レンゴー	パルプ・紙
MARUWA	ガラス・土石製品
三浦工業	機械
エフピコ	化学
トーセイ	不動産業
メタウォーター	電気・ガス業

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

8 月度の騰落率は、日経平均株価の+1.9%、東証株価指数 (TOPIX) の+0.5% に対しコムジェスト日本株式ファンドは-3.7%でした。8 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 38 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式等	97.5%
短期金融資産など	2.5%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

銘柄	業種	国	比率
1 ファーストリテイリング	一般消費財・サービス	日本	4.8%
2 キーエンス	情報技術	日本	4.8%
3 シスメックス	ヘルスケア	日本	3.7%
4 ファナック	資本財・サービス	日本	3.7%
5 エムスリー	ヘルスケア	日本	3.4%
6 ダイキン工業	資本財・サービス	日本	3.3%
7 浜松ホトニクス	情報技術	日本	3.2%
8 村田製作所	情報技術	日本	3.2%
9 シマノ	一般消費財・サービス	日本	3.1%
10 日本M&Aセンター	金融	日本	3.0%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

8 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) * の+0.4%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は-1.4%でした。7 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記の通りです。また、7 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、マザーファンドの組入銘柄数は 47 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式	92.5%
現金・その他	7.5%

国別株式投資比率と業種別投資比率

国名	比率(%)	業種	比率(%)
1 香港	29.30%	1 資本財・サービス	16.82%
2 オーストラリア	15.43%	2 金融	15.47%
3 台湾	10.75%	3 情報技術	13.04%
4 韓国	10.31%	4 一般消費財・サービス	12.67%
5 中国	8.68%	5 電気通信サービス	11.71%
6 シンガポール	6.31%	6 公益事業	11.22%
7 フィリピン	4.08%	7 生活必需品	7.80%
8 インドネシア	2.13%	8 ヘルスケア	2.30%
9 タイ	2.11%	9 素材	1.47%
10 マレーシア	1.40%		
11 アメリカ合衆国	1.01%		
12 ルクセンブルグ	0.98%		

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

銘柄名	業種
AIA GROUP LTD	金融
CHINA STATE CONSTR	資本財・サービス
GUANGDONG INVEST	公益事業
JARDINE MATHESON	資本財・サービス
POWER ASSETS HLDGS	公益事業
TAIWAN SEMICON MAN	情報技術
TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス
TENCENT HLDGS LTD	情報技術
TRANSURBAN GROUP	資本財・サービス
ZHEJIANG EXPRESS	資本財・サービス

*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド
(インスティテューショナルシェア・クラス)

8 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+0.0%に対し、米国オポチュニティファンドは+1.0%でした。6 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 7 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、7 月末時点の組入銘柄数は 208 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄と投資比率（2016 年 6 月末現在／四半期ごとに更新）

銘柄	業種	組入比率
1 ABIOMED Inc.	ヘルスケア	4.8%
2 Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	4.1%
3 Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.9%
4 Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.8%
5 Alphabet Inc.	情報技術	2.4%
6 Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.0%
7 Amgen Inc.	ヘルスケア	1.8%
8 Flextronics International Ltd	情報技術	1.7%
9 Nektar Therapeutics	ヘルスケア	1.7%
10 Charles Schwab Corp.	金融	1.7%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1ヘルスケア	31.0%
2情報技術	30.0%
3資本財・サービス	15.6%
4一般消費財・サービス	13.3%
5金融	6.0%
6生活必需品	1.1%
7素材	1.1%
8電気通信サービス	1.1%
9エネルギー	0.6%
10公益事業	0.0%

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド (インスティテューショナル・Iクラス)

8 月度の騰落率（ドルベース）はベンチマークであるラッセル 1000 グロース指数の-0.7%に対し、US ラージキャップ・グロース・エクイティファンドは-0.2%でした。7 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 63 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：44.6%）

銘柄	業種
Alphabet	情報技術
Amazon.com	一般消費財・サービス
Boeing	資本財・サービス
Bristol-Myers Squibb	ヘルスケア
Danaher	ヘルスケア
Facebook	情報技術
Microsoft	情報技術
Morgan Stanley	金融
Priceline	一般消費財・サービス
Visa	情報技術

業種別投資比率

業種	組入比率
1情報技術	29.5%
2一般消費財・サービス	26.9%
3ヘルスケア	24.4%
4資本財・サービス	9.5%
5金融	6.8%
6生活必需品	1.5%
7素材	0.9%
8電気通信サービス	0.9%
9エネルギー	0.0%
10公益事業	0.0%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I)

8 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の-0.1%、ラッセル 1000 グロース指数の-0.7%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは+0.6%でした。7 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：58.93%）

	銘柄	業種	組入比率
1	Charles Schwab	金融	6.77%
2	Priceline	一般消費財・サービス	6.64%
3	Amphenol	情報技術	6.63%
4	Celgene	ヘルスケア	6.49%
5	Quintiles Transnational	ヘルスケア	6.20%
6	Automatic Data Processing	情報技術	5.70%
7	Abbott Laboratories	ヘルスケア	5.20%
8	Alphabet	情報技術	5.17%
9	Master Card	情報技術	5.10%
10	Apple	情報技術	5.03%

業種別投資比率

	業種	組入比率
1	情報技術	29.50%
2	一般消費財・サービス	28.08%
3	ヘルスケア	22.58%
4	金融	6.77%
5	資本財・サービス	4.96%
6	素材	4.90%
7	生活必需品	3.21%
8	エネルギー	0.00%
9	電気通信サービス	0.00%
10	公益事業	0.00%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

8 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）*の+0.8%に対し、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA は-1.1%でした。8 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 31 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	96.5%
短期金融資産など	3.5%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	7.6%
2	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	スペイン	5.9%
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ヘルスケア	フランス	5.9%
4	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	5.4%
5	COLOPLAST -B	ヘルスケア	デンマーク	4.9%
6	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ヘルスケア	フランス	4.5%
7	WIRECARD AG	情報技術	ドイツ	4.0%
8	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	スイス	3.9%
9	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	3.7%
10	LINDT & SPRUENGLI AG-PC	生活必需品	スイス	3.6%

*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

8 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）*の+1.5%に対し、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA は-0.8%でした。8 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 42 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	96.9%
短期金融資産など	3.1%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	6.0%
2	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	4.8%
3	NETEASE INC ADR	情報技術	中国	4.6%
4	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	金融	中国	4.3%
5	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インド	4.2%
6	INFOSYS LTD-SP ADR	情報技術	インド	3.2%
7	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	3.1%
8	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	金融	韓国	3.1%
9	CKH HOLDINGS	資本財・サービス	香港	3.0%
10	SANLAM LTD	金融	南アフリカ	2.7%

*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
8 月度運用レポート

■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
8 月度運用レポート

■現在の組入れ対象ファンドについて

①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

②TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内外の株式及び国内外の債券に投資します。

運用方針：生活者の視点から長期的に必要とされるビジネスを展開する国内外の企業を選別し、長期保有します。

③ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

④ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行いません。

⑤T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド

主要投資対象：国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債、モーゲージ、アセット・バック債など譲渡可能証券から成る広く分散されたグローバルなポートフォリオに主に投資します。

運用方針：リサーチ・リソースを最大限に活用して、グローバルに全ての投資機会を捉え、厳正なリスク管理を通じてリスク調整後のトータルリターン最大化を目指します。

⑥T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド

主要投資対象：大型米国会社の譲渡可能株式および株式関連証券から成る広く分散されたポートフォリオに主に投資します。

運用方針：平均を上回る収益成長率が期待でき維持できる可能性がある企業へ重点を置いて投資し、長期的な元本成長をもたらすことを追求します。

⑦スパークス・集中投資・日本株ファンド S <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

⑧スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

⑨アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

⑩スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

⑪コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



セゾン資産形成の達人ファンド 8 月度運用レポート

■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5832% (税抜 0.54%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む) および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インド指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668

(受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。